

# 総務文教常任委員会記録

令和4年7月5日

【開催日】 令和4年7月5日（火）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前11時～午前11時22分

【出席委員】

|     |         |      |         |
|-----|---------|------|---------|
| 委員長 | 長谷川 知 司 | 副委員長 | 宮 本 政 志 |
| 委員  | 伊 場 勇   | 委員   | 岡 山 明   |
| 委員  | 笹 木 慶 之 | 委員   | 古 豊 和 恵 |
| 委員  | 前 田 浩 司 |      |         |

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

なし

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

|      |         |        |         |
|------|---------|--------|---------|
| 事務局長 | 河 口 修 司 | 庶務調査係長 | 田 中 洋 子 |
|------|---------|--------|---------|

【審査内容】

- 1 陳情書（教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について）

---

午前11時 開会

---

長谷川知司委員長 おはようございます。ただいまから総務文教常任委員会を開催いたします。本日の審査内容は、陳情書（教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について）であります。このことにつきましては、皆様方に何回も協議していただき、様々な意見を頂きました。それを基に、私と副委員長で回答案を作成いたしました。それをただいまから副委員長に読み上げていただきます。お願いします。

宮本政志副委員長 おはようございます。陳情・要望書の審査結果について、

令和4年2月10日付けで受理した「教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について」について、総務文教常任委員会において審査を行いました。その結果を下記のとおり御報告いたします。1、陳情・要望書の件名、「教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について」について。2、審査結果。令和4年5月12日に教育委員中村眞也氏を参考人として当委員会に招致して、その見解、対応等を調査した。当該参考人からは、「署名活動の発起人に名を連ね、特定の主張に賛同を集めることは、教育委員に課せられている政治的中立性に反することであり、私の認識が甘かった。今後はこのようなことがないように研修を重ねる」、「市、市民、議会に迷惑を掛けたことを謝罪したい」、「教育委員と埴生地区ふるさとづくり協議会会長を両立することは、今後も市民に疑念を抱かせるおそれがあるため、埴生地区ふるさとづくり協議会会長を辞職した」、「市内の学校と地域を共に元気にしていくという役割が負託されていることを自覚して、教育委員を続けていく」という発言があった。令和4年3月17日、4月27日及び5月20日に教育長を当委員会に招致して、その見解、対応等を調査した。今回の経緯、教育委員会会議での報告事項等について説明を受け、教育長からは、「中村委員が署名活動の発起人に名を連ねたことは、甘い認識の上での行動であり、教育委員以外の立場での言動であれば何でも許されるものではないことを深く自覚し、また、市の教育行政を担う執行機関の一員であることを自覚して行動する必要がある。署名活動のように個人の価値観で他に働きかける行為は、公人として望ましくない」、「特定の主張を展開することで市民を惑わせ、疑義を招く言動により教育への信頼を揺るがしたことは、誠に遺憾であり、中村委員には強く反省を求める。また、教育委員会を統括する教育長として市民の皆様には深くおわびする」、「今後は疑義を招くような言動は慎み、市民の負託に応えられるよう教育行政の執行機関の一員であるという責任を自覚し、より一層民意を反映した教育行政を実現するため不断の研さんに努め、絶えず教育委員全員に研修を行うよう、政治的中立性について指導していく」という発言があった。また、陳情者は今回の件のほ

かにも中村氏の行動について、いろいろな声を聞いているため、そのことについても教育長に確認したが、教育委員会ではそのような情報は把握していないということであった。この度の陳情書に関する当委員会の調査を踏まえ、公平中立な立場で教育行政を推進すべきである教育委員会及び教育委員のあるべき姿、そして、情報の速やかな公開及び議会への透明性について、中村氏及び教育長の言葉のとおり推進されるよう議会として今後も注視していく。以上でございます。

長谷川知司委員長 ただいま副委員長から報告書を読み上げていただきました。このことについて、皆様方から意見をお聞きします。

笹木慶之委員 今までの協議の中での非常に重要な案件は全て表現されておると思います。ただ、表現の中で二つほど、ちょっと気になるんですが、皆さん方の意見はどうでしょうか。「中村委員には強く反省を求める」とあるんですが、これはもう教育長が言われたと聞いていますから、「求めた」じゃないかと思うんですよ。これがまず1点。それからもう1点は、その後の「中村氏の行動について、いろいろな声を」とあります。声でもいいかと思うんですが、「意見」という言葉のほうがより適格かなと思いましたので、皆さんの意見をちょっと聞いてみたいと思います。

長谷川知司委員長 最初に、中村委員には強く反省を求めるというのは、もう済んだことだということですね。

笹木慶之委員 教育委員会会議で、もう求めたと発言があったんですよ。これは、過去形で「求めた」と教育長が言われたわけだから、今からするんじゃなくて求めたと、私はそういうふうに理解したんです。

長谷川知司委員長 今言われました、「中村委員には強く反省を求めた」という過去形でいいんじゃないかということですが、これについて皆さんどうでしょうか。

伊場勇委員 議事録で言った言葉も、「求めました」というふうに言っていたような覚えがありました。ただ、書き方として、ここを「求めた」とすると、何か全体的に少しまた修正が必要なのかなというふうに思っていますので、この現場で、委員会のときに言った言葉として、こういう答弁があったということで納めるなら、求めるということでもいいんじゃないのかなというふうに思います。あともう一つ、いろんな声ということは、伊藤實氏が、実際に言われたことだと。いろんな声を聞いていますというのは、覚えているんですけど、それはそのまま使っているので、意見ということなんでしょうけど、声という表現でも悪くはないのかなというふうに思いました。以上です。

宮本政志副委員長 これ、事務局に確認したいんですけど、3月17日と4月27日と5月20日、一番最後は5月20日になるんですけど、この時点で既に中村議員には強く反省を求めた状況であれば、笹木委員がおっしゃるとおりで、これは、5月20日時点では、今から中村委員には強く反省を求めていきますよということでしたら求めるんですけど、その辺りどうやったですか。過去になるか。

長谷川知司委員長 これ5月20日の時点では、もう教育委員会会議での報告を受けたので、だからここではもう過去形だったと思います。

田中庶務調査係長 5月20日の記録を見ますと、19日の教育委員会会議の内容を報告されている中の言い方として、「中村委員には強く反省を求めます」という言い方で報告をされています。

長谷川知司委員長 だから、求めたでいいわけですね。（「そうよね」と呼ぶ者あり）じゃあ、ここは「求めた」ということでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次にもう一つ、いろいろな声を聞いているというのは、声でなくて、意見というのでどうだろうかということですが。

岡山明委員 私は、やっぱり今の声を聞くのほうがいいと思います。意見を聞くというのはちょっと。皆さんのあらゆる全ての声を聞いた中で、教育長は聞いていないという状況だから、意見となると、じゃあ文書を出したのかという細かい話にまでなりますから、声という表現のほうが、私はこれで良かったんじゃないかと思えますけどね。

長谷川知司委員長 これについては、ちょっと議事録等を確認しますので、暫時休憩したいと思います。

---

午前 11 時 10 分 休憩

---

---

午前 11 時 20 分 再開

---

長谷川知司委員長 では、休憩を解きまして委員会を再開いたします。ただいま、議事録を精査しまして、陳情者はどのように申したかを確認しております。事務局のほうで、その発表をお願いします。

田中庶務調査係長 それでは、2月25日の陳情者の発言を読み上げます。「これは、教育委員である中村氏の行動について、いろいろ埴生地区からの相談がございました」。以上です。

長谷川知司委員長 ただいま「相談がありました」ということですが、これについて。

笹木慶之委員 私、先ほど意見と申し上げましたが、この行の捉え方は、陳情者を招いてお尋ねしたときの発言のとおりとなると思います。ということで、相談を受けてというふうには言われたと思いますので、その言葉を正確に書いたほうがいいんじゃないかなというふうに思います。いかがでしょうか。

長谷川知司委員長（「異議なし」と呼ぶ者あり）では、ここは、「いろいろな相談を受けているため」と、そのように訂正して報告したいと思いません。

長谷川知司委員長 ほかにございませんか。（「ありません」と呼ぶ者あり）では、この報告案を若干修正して、議長に報告書として提出いたします。なお、議長におかれて、文章、言葉遣いの訂正等がありましたら、そこはもう委員長、副委員長に任せていただきたいと思います。（「はい」と呼ぶ者あり）では、本日の総務文教常任委員会をこれで閉会いたします。お疲れ様でした。

---

午前 11 時 22 分 散会

---

令和 4 年（2022 年）7 月 5 日

総務文教常任委員長 長谷川 知 司